

ささえあい 安心
明るい 北海道!
 発行：ささだ浩事務所
 〒049-3107 二海郡八雲町本町84
 TEL 0137-62-3600/FAX 0137-62-3223
 E-mail : info@sasada-hiroshi.com
 Web : http://sasada-hiroshi.com

北海道議会議員
ささだ 浩
 道政だより
 第 16 号



**道内に甚大な台風被害
 全力で復旧に取り組みます**

農政委員会 道内農業被害復旧状況調査を実施

輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

北海道議会議員としての2期目の活動も、早いものですでに1年8ヶ月が経過いたしました。ご支援くださる皆さんの期待にお応えするため、出来る限り地域の課題を把握し、その課題の解決に向けてこれからも全力で取り組んでいく所存であります。

さて、北海道は8月に連続して発生した台風・大雨の影響で人的にも施設や産業にも大きな犠牲や影響をもたらしました。農業や水産、林業にも打撃を受け復旧作業は今も続いています。

さらに、心配されたTPP

謹賀新年

北海道議会議員
笹田 浩

が12月9日に承認され関連法案が成立しました。

国会審議での情報開示が進まず、道民のいのちや暮らし、農林水産関連産業、地域、人権や主権にどのような影響が及ぶのか、心配が払拭されずに決定したことに不安を感じています。しかも、次期アメリカ大統領はTPPからの離脱を宣言し、今後の見通しが立たない中での結論に違和感を覚えます。

11月18日にはJ R北海道が単独では維持することが困難な線区を発表し大きな衝撃を受けることとなりました。北海道は広大な面積、人口、積雪寒冷な気候、老朽化した施設など大きなハンディを持っています。今後のあり方には北海道が主体性を持って対応し、国にも積極的に関わっていただくよう働きかけなくてはなりません。

今年もしっかりと取り組んで参ります。

2017年は北海道・渡島、皆様にとってよりよい一年となりますようご祈念申し上げます。変わらぬご支援をお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

これまでの主な活動記録

- 8月2日 農政委員会
- 8月3日 新幹線・総合交通体系対策特別委員会
- 8月4日 農政予算中央要請（農政委員会）
- 8月6日 鉢呂吉雄参議院議員を囲む集い（函館市）
- 8月9日 森町新規企業等調査
- 8月10日 知内町戦没者慰霊祭
- 8月11日 七飯町地域農業調査（逢坂代議士合同）
- 8月13日 やるべ福島イカ祭り、八雲商工会仮装盆踊り大会
- 8月14日 相沼八幡神社大祭、熊石根崎神社例大祭
- 8月15日 八雲町戦没者追悼式・平和式典
- 8月16日 落部漁協海難者供養祭
- 8月17日 全国地方議員交流会（19日まで福岡県）
- 8月20日 日本フードパッカー道南工場家畜慰霊祭
- 8月21日 陸上自衛隊函館駐屯地創立66周年記念祝賀会
- 8月22日 日本大学夏季実習歓迎会
- 8月24日 渡島管内農業調査（徳永参議院合同）
- 8月25日 長万部町地域調査、八雲町民ドックスタッフ歓迎会
- 8月27日 ささだ浩ビールパーティー、社会福祉法人立栄会夏祭り、J P 労組道南中央支部第9回定期支部大会
- 8月28日 八雲厚生園やすらぎの里ふれあいの集い
- 8月29日 森町漁業等地域調査（逢坂代議士合同）
- 8月30日 台風被害調査（9月3日まで 逢坂代議士、鉢呂参議院合同）
- 9月1日 鹿部道路調査（逢坂代議士合同）
- 9月3日 ろうきんファミリー感謝祭、八雲シンフォニー祭り
- 9月4日 熊石地域町民運動会
- 9月6日 農政委員会
- 9月7日 新幹線・総合交通体系対策特別委員会
- 9月8日 各団体との政策懇談会、台風被害対策緊急知事要請
- 9月9日 全国林野関連労組渡島分会定期大会
- 9月10日 福島大神宮祭
- 9月12日 農政委員会、新幹線・総合交通体系対策特別委員会
- 9月13日 第3回定例会（10月7日まで）
- 9月14日 原水爆禁止世界大会報告会（八雲町）
- 9月15日 落部八幡宮例大祭
- 9月17日 熊石地域敬老会
- 9月18日 森町さわらふるさとまつり
- 9月19日 特別養護老人ホームくまいし荘敬老会
- 9月29日 生乳指定団体制度維持中央要請
- 10月1日 J R北海道労組議員団会議
- 10月4日 国保制度改正勉強会
- 10月5日 道消防協40周年記念式典
- 10月6日 終日委員会
- 10月7日 第3回定例会閉会
- 10月10日 おおさか誠二政経セミナー（函館市）
- 10月11日 ゆたかな教育を求める全道キャラバン（14日まで 長万部町～松前町）
- 10月22日 熊石地域6校合同開校記念式典
- 10月23日 八雲大漁秋味まつり
- 10月26日 T P P 地方公聴会（札幌市）
- 10月27日 長万部ボチボチ村調査（道農政部合同）
- 10月29日 八雲町文化祭、熊石文化祭、落部文化祭
- 10月30日 森町あきあじ祭、新函館農協八雲基幹支店農業祭
- 11月1日 農政委員会
- 11月2日 新幹線・総合交通体系対策特別委員会
- 11月3日 八雲全町一日健康の集い、元横綱千代の富士・秋元貢さんお別れ会（福島町）
- 11月5日 自治労渡島地方本部定期大会
- 11月6日 森町食キング市
- 11月7日 北海道新幹線渡島トンネル安全祈願祭
- 11月9日 木古内消防職員協議会定期総会
- 11月10日 長万部町地域調査
- 11月12日 落部豪海フェスタ、連合北海道渡島地域協議会・函館地区連合総会
- 11月13日 長万部地区退職者連合定期総会
- 11月15日 中国・黒竜江省北海道議会訪問（19日まで）
- 11月20日 民主議員ネット秋期政策研修会（21日まで札幌市）
- 11月23日 八雲神社秋季大祭新嘗祭、落部八幡宮新嘗祭
- 11月25日 農政委員会台風被害調査（オホーツク管内）
- 11月28日 農政委員会、新幹線・総合交通体系対策特別委員会
- 11月29日 第4回定例会（12月15日まで）
- 12月3日 おおさか誠二国政報告会
- 12月4日 八雲町社会福祉大会
- 12月7日 農政予算・畜産価格・酪農対策中央要望（農政委員会）
- 12月11日 J R北海道労組緊急集会
- 12月14日 終日委員会
- 12月15日 第4回定例会閉会
- 12月16日 会派各省庁中央要請
- 12月18日 林昌一様叙勲祝賀会
- 12月21日 特別委員会中央要請（鉄道局）、八雲地区連合定期大会
- 12月24日 連合後援会幹事会
- 12月28日 長万部町職労定期大会

北海道議会議員 **ささだ 浩**

新春の集い

- ・とき 2017年2月18日(土) 午後6時
- ・ところ はぴあ八雲（八雲町本町110-1 TEL 68-2228）
- ・会費 2,000円 ※立食形式

■主催 ささだ浩連合後援会 連絡先／二海郡八雲町本町84番地 TEL (0137) 62-3600

第4回定例道議会

第4回定例会は、11月29日(火)に開会し、道補正予算案、警察署の再編整備のための道警察組織条例改正案、「地方一般財源総額の確保等の緊急的な対応を求める意見書」などを可決して12月15日に閉会しました。

私は予算特別委員会本分科会の理事、第2分科会の副委員長として補正予算審議に関わり、最終本会議では農政委員会所管議案審査と経過について副委員長として報告しました。



予算特別委員会では建設部所管審査で平成29・30年度の入札参加資格申請の改正点と建設業の社会貢献の推進などについて、教育委員会所管審査で生涯学習の推進について質問させていただきました。

今定例会の最大の焦点となったのは、JR問題でした。11月18日にJR北海道が公表した「JR単独では維持することが困難な路線」は、JR北海道の鉄道の半分に及びます。道内全域が対象になり、強い危機感を抱く地域や道民からは、道の対応が極めて鈍いとの指摘が相次いでいます。

民進党・道民連合会派は、道の主体的、積極的な対応を求め、路線維持、全道の交通ネットワーク維持に向けた議論を展開しました。

また、本道に影響を及ぼしている、TPPや農業施策見直し、北方領土と日ロ経済協力、空港民営化、カジノを含むIR法制なども議論しましたが、いずれの課題についても、知事からは、道の主体性が示されることはありませんでした。

補正予算は、災害復旧事業費131億円など一般会計160億900万円、特別会計1億2500万円で、これで28年度道予算の規模は、一般会計3兆367億円、特別会計6321億円の合計3兆6688億円となりました。

採択された決議・意見書

- ◎は政審発議、○は委員会発議
- ◎地方一般財源総額の確保等の緊急的な対応を求める意見書
- ◎2次医療圏の設定に関する意見書
- ◎私立専修学校等における専門的職業人材の育成機能の強化等を求める意見書

止した。委託業務は、社会保険等の加入者に限定した。

(質問) なぜ建設企業が行う地域への社会貢献活動の改正がなかったのか。

(答弁) 庁内各部や地方建設業協会からの意見も踏まえ現行どおりとした。

(指摘) 社会貢献の意義は大きい、メリットもありイメージアップに繋がり、人材確保でも効果がある。さらに、地域から信頼される。複数の取り組みには、さらに加点し、点数も大幅に増やすことを次回取り入れるよう指摘する。

(質問) 前金払、中間前金払制度は建設企業の健全な経営環境を確保するという点から必要な制度だ。北海道における各市町村の導入状況、前金払の限度額の廃止、中間前金払制度の導入に向けて取り組みは。

(答弁) 46の市町村が支払額の上限を定め、中間前金払制度を導入していない市町村は138ある。市町村における適切な運用を引き続き要請し、道から情報提供など支援を行う。

◆生涯学習の推進について

(質問) 学校教育活動はもとより、公民館や図書館、体育館などにおける社会教育事業や、文化・スポーツなどの住民主体のサークル活動など地域において生涯学習を推進していくことは重要。

(略) 道民のここ数年の推移と学習内容を確認し、趣味やサークル活動



中心と結果が出ていて、個々の生きがいづくりには非常に重要、一方、人口減少が進んで、地域に活力が求められている。地域コミュニティや地域社会に対する教育の充実が地域をよりよく変える。道民の地域づくりに向けた生涯学習の状況はどうか。

(答弁) 生涯学習が自己の人生を楽しく豊かにし、学習の成果を人づくりや地域づくりにつなげていくことが大変重要であると考えている。

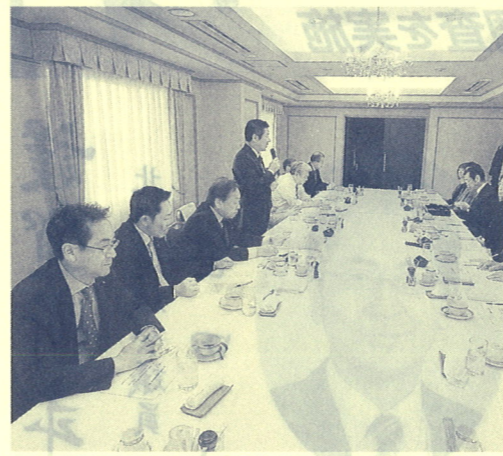
(質問) 生涯学習の推進主体は、住民に最も身近な市町村が大きな役割を果たしているがどのような課題を抱えているのか。今後どう支援していくのか。

(答弁) 道民カレッジ事業で地域づくりにつながる講座を実施し生涯学習で地域づくりにつなげる。市町村には指導者の養成、学校・家庭・地域の連携の在り方等の課題がある。今後、情報提供や地域におけるリーダー育成研修会の開催等、市町村に対する支援の充実を図る。

○精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める意見書

【鉄路維持の課題について】

- JR北海道については、会派内に「JR北海道路線維持対策プロジェクトチーム」(三津丈夫会長)を設置、民進党北海道の「JR北海道路線維持対策本部」(荒井聰本部長)などと連携し、解決に向けて取り組みこととし、会期最終日の12月15日に、知事の早急な対応を促すため、次の3項目を申し入れました。
1. 路線維持を基本に、全道の交通ネットワークを維持すること。
 2. 北海道が、積極的に「協議の場」を設け、主体的に議論すること。
 3. 地方自治体や住民の意向を早急に把握し、それを踏まえて国に要請すること。



また、16日には会派議員で国土交通省鉄道局に対し「住民が各地域で住み続け、産業を維持するための重要な基盤であるJR路線の今後の検討がJR北海道、北海道、沿線自治体の間で進んでいない。国として鉄路の維持に向けた支援強化をすることともに、検討に参画すること」などを要請しました。

その他各省庁への提言・要望概要は次の通りです。

- 〈総務省〉 地方財政の充実・強化について
- 〈国土交通省〉 交通対策について
- 〈経済産業省〉 エネルギー政策について
- 〈厚生労働省〉 地域医療について、保育について、介護について

予算特別委員会 質疑内容と答弁

(詳細はささだのホームページをご覧ください)

◆入札制度について

(質問) いつ大災害が発生するかわからない。迅速・円滑に復旧作業を実施するには建設業の経営環境を整えることが重要。入札制度によって後押しすべき。来年度からの改正点は。

(答弁) 技術・社会点は「女性の活躍支援」に対する評価項目を新設した。鋼橋上部工事は、等級区分を廃

ささだブログから.....

ささだ浩ホームページに掲載されたブログから抜粋しています。ささだブログは日々の活動状況を笹田自身が更新しています。また、フェイスブックでは更に詳細な活動報告をしています。「いいね！」で笹田への激励をお願いいたします。

詳しくはこちらをご覧ください。→ <http://sasada-hiroshi.com>



8月11日 地域調査(七飯町)



9月11日 福島大神宮祭



9月18日 さわらふるさと祭



11月7日 渡島トンネル安全祈願



11月12日 落部豪海フェスタ



11月29日 松前病院署名活動